

日商産一発 第24号

2011年 7月29日

LOBO調査 実施商工会議所 御中

日本商工会議所

## LOBO調査（2011年7月分）の集計結果の送付について

先般実施いたしました標記調査の集計結果を下記の通りご報告いたします。  
実施商工会議所各位におかれましては、本調査結果をヒアリング対象企業等へ送付されるほか、会合等での資料として積極的にご活用くださるようお願いいたします。  
なお、本調査結果（ブロック別概況部分を除く）につきましては、日商ホームページに掲載しておりますので、併せてご利用ください。  
（アドレスは <http://www.jcci.or.jp/lobo.html> です。）

（本件担当） 産業政策第一部 須田・張替  
TEL：03-3283-7839  
FAX：03-3213-8716  
E-mail:sangyo1@jcci.or.jp

## 商工会議所LOBO（早期景気観測）

— 2011年7月調査結果 —

○調査期間：2011年7月15日～22日  
○調査対象：全国の408商工会議所が2700企業等にヒアリング  
（東北の被災3県の74企業は未回答）

<産業別回収状況>				<ブロック別回収率>	
調査産業	調査対象数	回答数	回収率		
建設	399	203	50.9%	北海道	30.4%
製造	641	324	50.5%	東北	42.7%
卸売	251	131	52.2%	北陸信越	40.2%
小売	743	345	46.4%	関東	51.5%
サービス	666	297	44.6%	東海	59.4%
合計	2700	1300	48.1%	近畿	43.9%
				中国	47.9%
				四国	72.8%
				九州	49.2%

○調査項目：今月の売上・採算・業況等についての状況（DI値を集計）

※ DI値（景況判断指数）について

DI値は、売上・採算・業況などの各項目についての、判断の状況を表す。ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりを意味する。

DI = (増加・好転などの回答割合) - (減少・悪化などの回答割合)  
業況・採算：(好転) - (悪化)      売上：(増加) - (減少)

-----【2011年7月調査結果のポイント】-----

業況DIは、被災地を除き震災前水準に近づくも、産業空洞化への懸念が広がる

7月の全産業合計の業況DIは、▲40.0（前月比+11.4ポイント）と、過去2番目の改善幅（※）を記録。震災前の水準（11年2月：▲40.1）に回復したものの、その水準は、リーマン・ショック後回復途上にあった2010年5月と同程度。（※過去最大は1997年3月の+11.9ポイント）  
先行きについては、先行き見通しDIが▲33.6と、今月から+6.4ポイント改善する見通し。自動車メーカーの増産に伴う受注増加や消費回復への期待がみられる。しかし、サプライチェーンの寸断を契機としたリスク分散に加え、円高や電力不足の長期化等を背景に、地元で立地する製造業の海外移転が進展していることから、雇用喪失など地域経済への影響を懸念する声が多い。

産業別にみると、卸売業の回復は緩慢であるものの、業況DIのマイナス幅は、全ての業種で大幅に縮小した。

○各業種から寄せられた特徴的なコメントは以下のとおり。

【建設業】「公共事業が被災地の復旧優先となり、地元では工事減少が見込まれるため、先行きは厳しい」（土木工事業）、「住宅エコポイント制度の早期終了（2011年12月31日→7月31日）に伴う受注減少を懸念」（電気工事業）、「自治体の補正予算が執行された6月以降、被災地域での復旧工事の受注が増加」（一般工事業）

【製造業】「足元の受注量は、大幅に落ち込んでいた3～5月から回復。これまで減産していた分も含めて、生産量は高水準にある」（自動車・同附属品製造業）、「1ドル＝80円前後で円相場が高止まりしており、輸出依存度の高い情報機器部門の収益が相当厳しい」（金属製品製造業）、「受注単価は依然厳しいものの、火力プラント用部品の受注が徐々に回復しつつある」（産業用電気機械器具製造業）

【卸売業】「放射能汚染の影響で、お茶の売上が大幅に減少」（飲料卸売業）、「2010年産米の卸価格が急激に上昇。仕入れ難から販売の落ち込みを懸念」（米穀類卸売業）、「復興需要により、電動ドリルやのこぎりなど、道路工事や建築用工具の需要が増加」（建築材料卸売業）

【小売業】「地デジ化や節電対応により、テレビや扇風機など家電製品の売上が好調」（百貨店）、「クールビズ・カジュアルビズの浸透で、涼感商品や暑さ対策商品の売上が好調。品切れも続出している」（総合スーパー）、「農産物など食料品への放射能汚染が広がり、消費者の不安が増大している。今後の売上への影響を懸念」（百貨店）

【サービス業】「製造業の休日変更により、工場関係の宿泊客が増加」（旅館）、「放射能汚染の影響で、消費者の牛肉離れを懸念」（食堂）、「円高の影響で、輸出向けの貨物運送の需要が大幅に減少」（運送業）

ブロック・産業別業況DI（前年同月比：2011年7月）

	全業種	建設	製造	卸売	小売	サービス
全国	▲40.0	▲45.8	▲32.9	▲47.3	▲35.1	▲45.9
北海道	▲33.3	▲50.0	▲36.4	▲33.3	▲16.7	▲36.8
東北	▲10.5	▲5.6	0.0	▲14.3	▲4.0	▲28.0
北陸信越	▲52.3	▲54.2	▲38.7	▲50.0	▲50.0	▲67.7
関東	▲43.4	▲41.7	▲37.5	▲50.0	▲40.4	▲52.1
東海	▲32.4	▲33.3	▲7.9	▲58.8	▲31.4	▲45.9
近畿	▲45.6	▲54.5	▲50.0	▲31.3	▲44.9	▲42.1
中国	▲47.3	▲66.7	▲34.5	▲58.3	▲46.4	▲53.3
四国	▲39.3	▲50.0	▲24.1	▲70.0	▲20.0	▲56.7
九州	▲39.7	▲68.2	▲46.9	▲36.4	▲33.3	▲20.0

ブロック・産業別業況DI（先行き見通し：2011年8～10月）

上段：2011年7月時点

下段：2010年7月時点

	全業種	建設	製造	卸売	小売	サービス
全国	▲33.6	▲45.3	▲27.6	▲32.8	▲33.1	▲33.1
北海道	▲34.7	▲49.6	▲27.2	▲30.9	▲37.0	▲31.7
東北	▲36.4	▲41.7	▲45.5	▲33.3	▲33.3	▲31.6
	▲28.8	▲26.7	▲61.5	▲22.2	▲23.5	▲19.2
東北	▲3.2	11.1	5.0	14.3	▲7.7	▲21.7
	▲36.7	▲55.6	▲17.4	▲25.0	▲30.3	▲51.9
北陸信越	▲33.3	▲50.0	▲25.8	▲41.7	▲29.0	▲29.0
	▲27.7	▲32.3	▲20.5	▲21.4	▲33.3	▲27.9
関東	▲35.5	▲50.0	▲25.8	▲32.5	▲35.2	▲37.5
	▲33.7	▲53.7	▲26.3	▲31.6	▲36.2	▲25.0
東海	▲27.6	▲33.3	▲15.8	▲35.3	▲34.3	▲27.0
	▲32.7	▲47.6	▲22.5	▲50.0	▲33.3	▲27.3
近畿	▲42.9	▲63.6	▲43.2	▲31.3	▲45.8	▲31.6
	▲30.1	▲31.8	▲27.7	▲41.2	▲28.8	▲29.4
中国	▲38.5	▲66.7	▲34.5	▲41.7	▲29.6	▲42.9
	▲40.0	▲75.0	▲20.7	▲21.4	▲56.0	▲40.0
四国	▲40.5	▲55.6	▲24.1	▲50.0	▲27.6	▲56.7
	▲33.3	▲58.8	▲14.3	▲45.5	▲44.8	▲19.2
九州	▲34.6	▲50.0	▲37.5	▲27.3	▲38.9	▲17.2
	▲53.9	▲69.6	▲54.8	▲9.1	▲51.2	▲60.0

※「先行き見通し」は当月に比した向こう3カ月の先行き見通しDI（以下同じ）

【業況についての判断】

○7月の景況をみると、全産業合計の業況DI（前年同月比ベース、以下同じ）は▲40.0（前月比+11.4ポイント）となり、マイナス幅は3カ月連続で縮小した。産業別にみても、全ての業種でマイナス幅が大幅に縮小した。  
 ○向こう3カ月（8～10月）の先行き見通しについては、全産業合計の業況DI（今月比ベース）は▲33.6と、今月から+6.4ポイントの大幅な改善を見込んでいる。  
 ○産業別に先行き見通しをみると、今月と比べ、建設業はほぼ横ばいとなるものの、他の4業種はマイナス幅が縮小する見込み。

【売上（受注・出荷）についての判断】

○売上面では、全産業合計の売上DIは▲31.4（前月比+14.4ポイント）となり、マイナス幅は3カ月連続で縮小。産業別にみても、全ての業種でマイナス幅が大幅に縮小した。特に、建設業は住宅エコポイント制度の早期終了に伴う駆け込み需要、小売業はクールビズ等の涼感商品や省エネ製品の需要、サービス業は震災後に低迷していた観光客が上向いたことで売上は大幅に回復した。  
 ○向こう3カ月（8～10月）の先行き見通しについては、全産業合計の売上DI（今月比ベース）は▲27.4と、今月から4.0ポイントの改善を見込んでいる。  
 ○産業別に先行き見通しをみると、今月と比べ、小売業はマイナス幅が拡大するものの、他の4業種は縮小する見込み。

業況DI（前年同月比）の推移

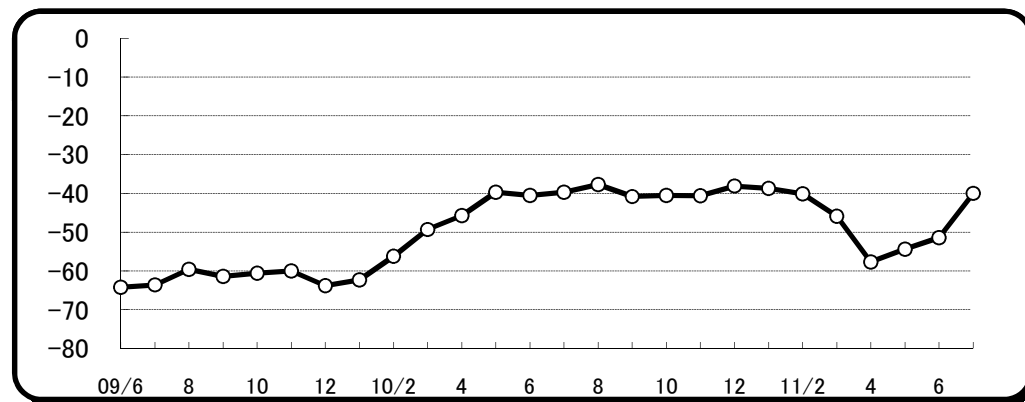
	11年 2月	3月	4月	5月	6月	7月	先行き見通し 8～10月
全産業	▲40.1	▲45.9	▲57.7	▲54.4	▲51.4	▲40.0	▲33.6
建設	▲50.9	▲59.5	▲60.3	▲56.1	▲52.7	▲45.8	▲45.3
製造	▲29.8	▲35.7	▲50.2	▲48.6	▲40.3	▲32.9	▲27.6
卸売	▲33.8	▲37.1	▲51.9	▲59.1	▲59.8	▲47.3	▲32.8
小売	▲38.7	▲46.0	▲58.1	▲54.8	▲51.0	▲35.1	▲33.1
サービス	▲48.0	▲51.5	▲66.4	▲57.2	▲59.9	▲45.9	▲33.1

売上（受注・出荷）DI（前年同月比）の推移

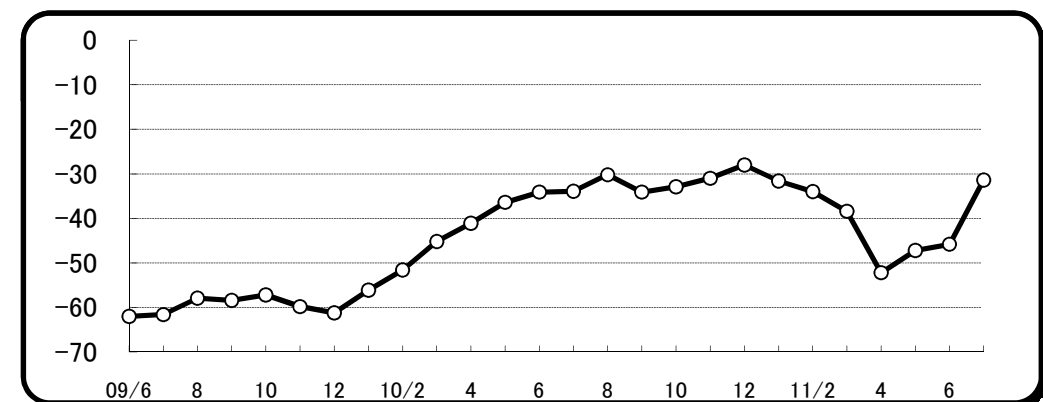
	11年 2月	3月	4月	5月	6月	7月	先行き見通し 8～10月
全産業	▲34.0	▲38.4	▲52.2	▲47.2	▲45.8	▲31.4	▲27.4
建設	▲48.6	▲51.0	▲51.9	▲44.9	▲50.0	▲37.4	▲34.0
製造	▲17.1	▲22.7	▲44.0	▲38.6	▲29.7	▲21.1	▲19.1
卸売	▲30.8	▲26.7	▲46.6	▲54.5	▲53.5	▲43.8	▲24.4
小売	▲34.4	▲42.4	▲52.2	▲48.5	▲49.0	▲27.7	▲29.9
サービス	▲43.0	▲47.3	▲63.9	▲53.5	▲53.9	▲37.2	▲30.5

※「先行き見通し」は当月に比べた向こう3カ月の先行き見通しDI

《業況DI（全産業・前年同月比）の推移》



《売上（受注・出荷）DI（全産業・前年同月比）の推移》



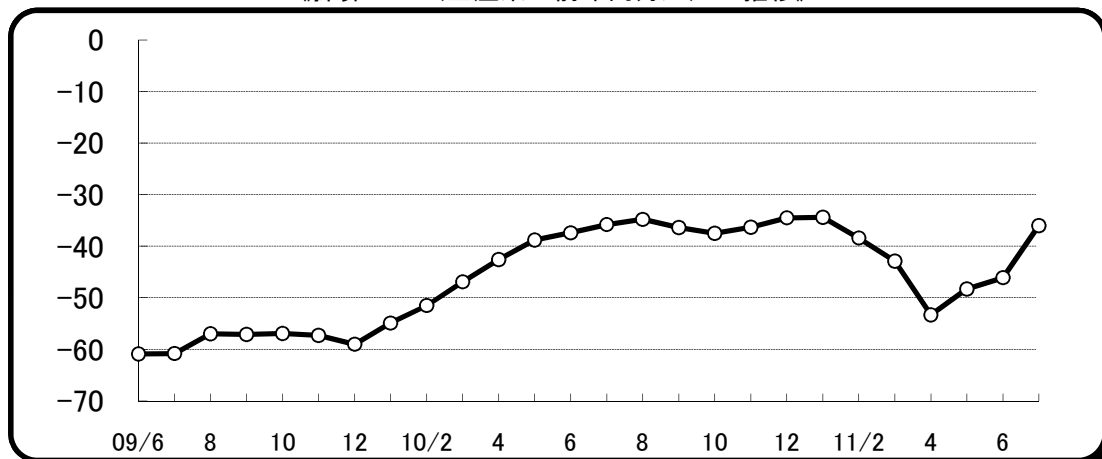
【採算の状況についての判断】

○採算面では、全産業合計の採算DIは▲36.0（前月比+10.1ポイント）となり、マイナス幅は3カ月連続で縮小。産業別にみると、マイナス幅が拡大した卸売業は仕入価格の高騰・高止まりにより依然として厳しい水準が続いているものの、他の4業種は縮小した。  
 ○向こう3カ月（8～10月）の先行き見通しについては、全産業合計の売上DI（今月比ベース）は▲31.3と、今月から4.7ポイントの改善を見込んでいる。  
 ○産業別に先行き見通しをみると、今月と比べ、小売業はほぼ横ばいとなるものの、他の4業種はマイナス幅が縮小する見込み。

採算DI（前年同月比）の推移

	11年 2月	3月	4月	5月	6月	7月	先行き見通し 8～10月
全産業	▲38.4	▲42.9	▲53.3	▲48.3	▲46.1	▲36.0	▲31.3
建設	▲52.8	▲56.5	▲56.9	▲50.7	▲51.2	▲49.3	▲43.8
製造	▲31.3	▲36.3	▲53.6	▲43.4	▲39.7	▲29.0	▲27.2
卸売	▲26.2	▲25.0	▲38.2	▲45.5	▲40.9	▲42.7	▲30.5
小売	▲33.1	▲39.5	▲47.9	▲46.0	▲42.5	▲27.3	▲26.7
サービス	▲47.0	▲51.4	▲63.8	▲55.7	▲56.0	▲41.6	▲32.9

《採算DI（全産業・前年同月比）の推移》



## 2011年7月

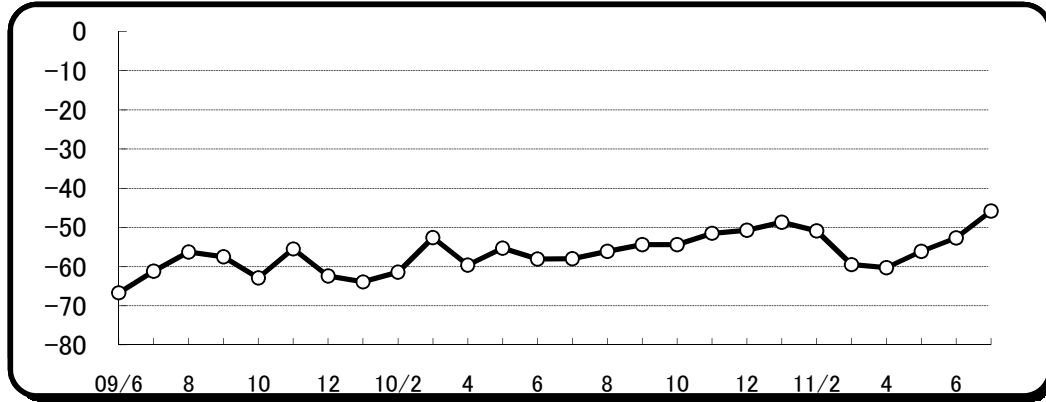
	売上(受注・出荷)		採算		資金繰り		仕入単価		従業員		業況	
	前年比	先行き	前年比	先行き	前年比	先行き	前年比	先行き	前年比	先行き	前年比	先行き
全業種												
全国	-31.4	-27.4	-36.0	-31.3	-24.9	-25.0	-33.7	-28.5	-7.1	-5.8	-40.0	-33.6
北海道	-24.2	-30.3	-28.8	-22.7	-12.3	-15.6	-30.3	-27.3	-10.6	-7.6	-33.3	-36.4
東北	-11.5	-10.4	-17.9	-16.8	-9.7	-5.5	-42.1	-28.4	-1.0	10.3	-10.5	-3.2
北陸信越	-45.4	-28.7	-46.9	-34.1	-36.5	-32.5	-30.2	-26.6	-14.7	-15.5	-52.3	-33.3
関東	-28.8	-25.8	-38.1	-35.8	-24.9	-25.5	-35.8	-30.4	-5.8	-4.4	-43.4	-35.5
東海	-17.2	-21.5	-30.3	-27.1	-14.3	-20.0	-26.6	-27.5	1.4	1.4	-32.4	-27.6
近畿	-42.0	-31.0	-38.1	-28.7	-27.2	-24.8	-40.7	-31.3	-7.1	-8.3	-45.6	-42.9
中国	-52.7	-33.7	-41.9	-31.5	-38.0	-36.3	-26.4	-17.8	-15.1	-13.0	-47.3	-38.5
四国	-28.8	-36.8	-39.0	-36.8	-23.1	-28.4	-33.1	-29.1	-3.4	-5.1	-39.3	-40.5
九州	-31.3	-30.8	-32.8	-34.6	-33.1	-30.0	-31.5	-30.2	-13.1	-11.6	-39.7	-34.6
建設												
全国	-37.4	-34.0	-49.3	-43.8	-37.2	-34.2	-45.0	-36.5	-11.4	-10.9	-45.8	-45.3
北海道	-33.3	-25.0	-50.0	-41.7	-41.7	-33.3	-25.0	-33.3	-25.0	-16.7	-50.0	-41.7
東北	-5.6	22.2	-11.1	-5.6	-16.7	5.6	-44.4	-33.3	11.1	27.8	-5.6	11.1
北陸信越	-41.7	-41.7	-45.8	-33.3	-42.9	-42.9	-41.7	-16.7	-4.2	-8.3	-54.2	-50.0
関東	-33.3	-46.7	-48.3	-50.0	-35.6	-39.0	-53.4	-43.1	-8.6	-13.8	-41.7	-50.0
東海	-5.6	-16.7	-38.9	-33.3	-5.6	-11.1	-16.7	-22.2	0.0	-5.6	-33.3	-33.3
近畿	-50.0	-36.4	-45.5	-31.8	-40.9	-31.8	-45.5	-31.8	-22.7	-22.7	-54.5	-63.6
中国	-77.8	-11.1	-77.8	-55.6	-55.6	-55.6	-37.5	-37.5	0.0	-11.1	-66.7	-66.7
四国	-33.3	-55.6	-66.7	-72.2	-44.4	-38.9	-55.6	-44.4	-5.6	-11.1	-50.0	-55.6
九州	-72.7	-45.5	-72.7	-63.6	-59.1	-54.5	-54.5	-54.5	-45.5	-27.3	-68.2	-50.0
製造												
全国	-21.1	-19.1	-29.0	-27.2	-19.7	-22.0	-40.2	-33.2	-8.0	-3.1	-32.9	-27.6
北海道	9.1	-36.4	-18.2	-27.3	9.1	-27.3	-54.5	-45.5	-9.1	9.1	-36.4	-45.5
東北	15.0	5.0	-10.0	-15.0	0.0	0.0	-40.0	-45.0	0.0	5.0	0.0	5.0
北陸信越	-22.6	-9.7	-29.0	-22.6	-26.7	-20.0	-40.0	-36.7	-16.1	-12.9	-38.7	-25.8
関東	-27.3	-16.9	-36.0	-37.5	-21.8	-20.9	-40.4	-37.5	-10.2	-2.3	-37.5	-25.8
東海	0.0	-10.5	-18.4	-23.7	-11.1	-22.2	-36.8	-28.9	5.3	5.3	-7.9	-15.8
近畿	-31.8	-27.3	-22.7	-20.5	-16.7	-26.2	-52.3	-45.5	-6.8	-6.8	-50.0	-43.2
中国	-31.0	-20.7	-37.9	-20.7	-24.1	-20.7	-24.1	-3.4	-13.8	-3.4	-34.5	-34.5
四国	-23.3	-23.3	-30.0	-16.7	-17.2	-24.1	-40.0	-26.7	3.3	6.7	-24.1	-24.1
九州	-34.4	-37.5	-37.5	-40.6	-40.6	-31.3	-37.5	-28.1	-21.9	-18.8	-46.9	-37.5

## 2011年7月

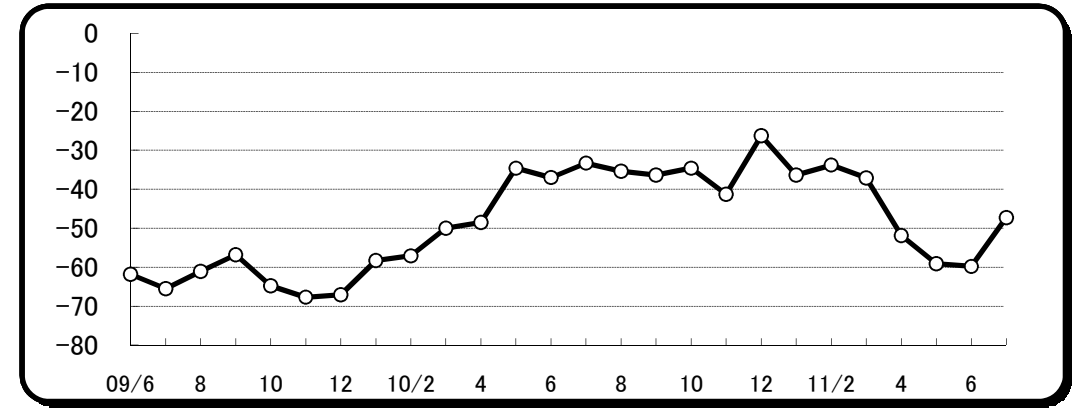
	売上(受注・出荷)		採算		資金繰り		仕入単価		従業員		業況	
	前年比	先行き	前年比	先行き	前年比	先行き	前年比	先行き	前年比	先行き	前年比	先行き
卸売												
全国	-43.8	-24.4	-42.7	-30.5	-15.4	-16.9	-24.4	-23.7	-17.6	-13.7	-47.3	-32.8
北海道	-50.0	-33.3	-50.0	0.0	0.0	0.0	-66.7	-50.0	-16.7	-16.7	-33.3	-33.3
東北	-28.6	-14.3	-42.9	-28.6	-28.6	0.0	-42.9	-28.6	-28.6	0.0	-14.3	14.3
北陸信越	-83.3	-33.3	-75.0	-33.3	-16.7	-16.7	-25.0	-16.7	-16.7	-8.3	-50.0	-41.7
関東	-25.6	-15.0	-32.5	-32.5	-10.0	-12.5	-25.0	-22.5	-7.5	-5.0	-50.0	-32.5
東海	-70.6	-41.2	-70.6	-47.1	-25.0	-31.3	-11.8	-23.5	-23.5	-23.5	-58.8	-35.3
近畿	-25.0	-12.5	-18.8	-18.8	-18.8	-12.5	-18.8	-6.3	-18.8	-25.0	-31.3	-31.3
中国	-83.3	-41.7	-50.0	-33.3	-33.3	-41.7	-16.7	-25.0	-25.0	-8.3	-58.3	-41.7
四国	-60.0	-40.0	-50.0	-30.0	-10.0	-30.0	0.0	-30.0	-30.0	-30.0	-70.0	-50.0
九州	0.0	-9.1	-18.2	-27.3	0.0	0.0	-45.5	-36.4	-18.2	-18.2	-36.4	-27.3
小売												
全国	-27.7	-29.9	-27.3	-26.7	-23.8	-23.5	-25.9	-24.9	-0.6	-0.9	-35.1	-33.1
北海道	-27.8	-38.9	-11.1	-11.1	5.9	5.9	-5.6	-11.1	-5.6	-5.6	-16.7	-33.3
東北	-15.4	-22.2	-20.0	-15.4	-12.0	-8.0	-42.3	-14.8	-3.8	11.1	-4.0	-7.7
北陸信越	-46.9	-29.0	-37.5	-35.5	-40.7	-34.6	-12.5	-22.6	-9.4	-3.2	-50.0	-29.0
関東	-20.2	-27.3	-30.3	-30.3	-19.8	-21.2	-25.8	-24.1	5.7	2.3	-40.4	-35.2
東海	-20.0	-26.5	-17.1	-17.6	-14.7	-20.6	-25.7	-35.3	8.6	5.7	-31.4	-34.3
近畿	-53.1	-39.6	-47.9	-34.0	-39.5	-28.6	-36.2	-30.4	-8.2	-8.3	-44.9	-45.8
中国	-42.9	-37.0	-21.4	-18.5	-37.0	-38.5	-18.5	-19.2	-17.9	-22.2	-46.4	-29.6
四国	-13.3	-24.1	-20.0	-24.1	-16.7	-24.1	-30.0	-31.0	6.7	10.3	-20.0	-27.6
九州	-11.1	-27.8	-16.7	-33.3	-28.6	-31.4	-25.0	-25.0	5.7	-2.9	-33.3	-38.9
サービス												
全国	-37.2	-30.5	-41.6	-32.9	-27.8	-27.3	-31.8	-24.0	-6.1	-7.5	-45.9	-33.1
北海道	-26.3	-21.1	-31.6	-26.3	-26.3	-22.2	-31.6	-21.1	-5.3	-10.5	-36.8	-31.6
東北	-28.0	-33.3	-20.0	-25.0	-4.2	-18.2	-41.7	-26.1	0.0	4.0	-28.0	-21.7
北陸信越	-54.8	-35.5	-64.5	-45.2	-48.0	-44.0	-32.3	-32.3	-26.7	-38.7	-67.7	-29.0
関東	-39.4	-23.6	-45.1	-30.6	-34.3	-32.4	-33.8	-23.2	-11.4	-7.0	-52.1	-37.5
東海	-13.5	-21.6	-32.4	-27.0	-16.7	-16.7	-28.6	-22.9	2.7	8.1	-45.9	-27.0
近畿	-42.1	-28.9	-47.4	-34.2	-20.0	-20.0	-39.5	-26.3	7.9	5.3	-42.1	-31.6
中国	-73.3	-60.0	-60.0	-60.0	-60.0	-46.7	-46.7	-26.7	-13.3	-20.0	-53.3	-42.9
四国	-36.7	-50.0	-46.7	-50.0	-26.7	-30.0	-26.7	-20.0	-10.0	-20.0	-56.7	-56.7
九州	-33.3	-24.1	-23.3	-10.3	-23.3	-20.0	-10.3	-17.9	0.0	0.0	-20.0	-17.2

# 業況DI（前年同月比）の推移（全国）

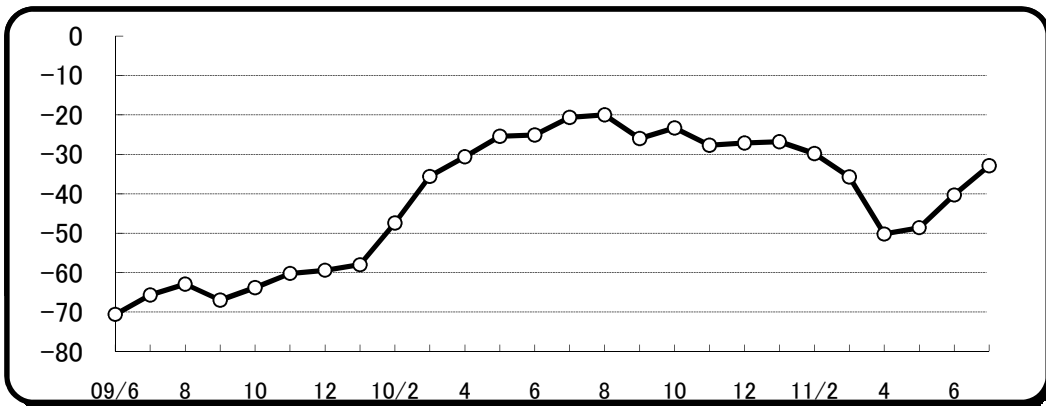
## 建設業



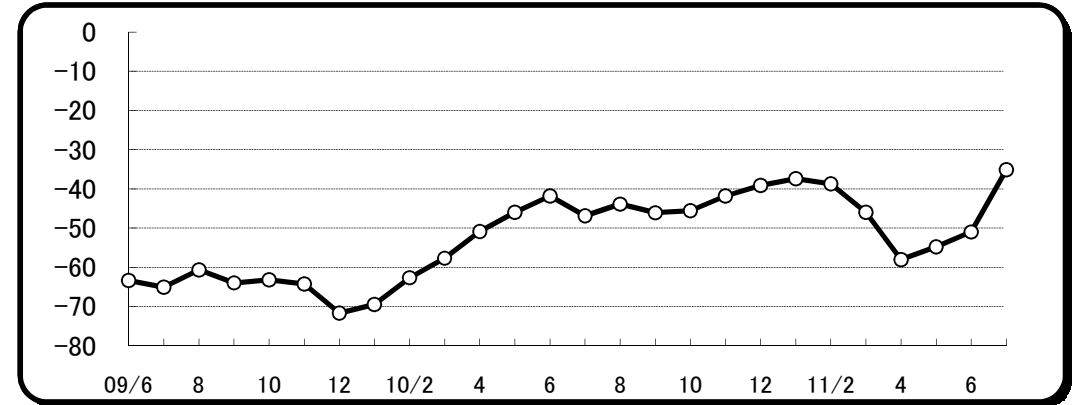
## 卸売業



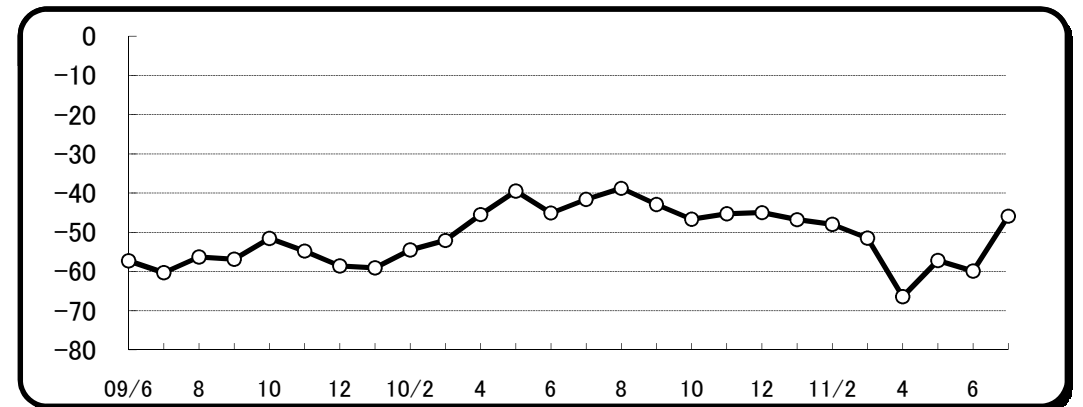
## 製造業



## 小売業



## サービス業



【ブロック別概況・北海道】

○全産業の業況DIは、マイナス幅が2カ月ぶりに縮小。産業別では、建設は横ばいだったものの、他の4業種はマイナス幅が大幅に縮小した。  
 ○水産食料品製造業からは、「震災後落ち込んでいたかの入荷が回復。それに伴い売上も増加している」とのコメント。総合卸売業からは、「市外や道外の観光客が街中で見かけるようになり、今後の売上増加に期待」とのコメント。旅館からは「震災後、インバウンド客が前年比20～30%減少していたが、わずかながら回復しつつある」との声、情報処理・提供業からは、「災害や電力不足などリスク分散の一環として、首都圏から地方のデータセンターを利用する動きが増えている。災害の少なさをアピールして、新規の受注獲得につなげたい」とのコメントが寄せられた。  
 ○業況の先行き見通しDIは、全産業では今月からマイナス幅が拡大する見込み。産業別にみると、建設、サービスはマイナス幅が縮小するものの、卸売は横ばい、製造、小売は拡大する見込み。

全産業DI（前年同月比）の推移

	11年 2月	3月	4月	5月	6月	7月	先行き見通し 8～10月
業況	▲ 48.3	▲ 51.1	▲ 49.4	▲ 47.3	▲ 52.1	▲ 33.3	▲ 36.4
売上	▲ 48.9	▲ 50.5	▲ 53.8	▲ 48.0	▲ 52.8	▲ 24.2	▲ 30.3
採算	▲ 41.6	▲ 43.5	▲ 40.3	▲ 41.9	▲ 42.3	▲ 28.8	▲ 22.7
資金繰り	▲ 36.9	▲ 31.9	▲ 23.4	▲ 24.3	▲ 26.8	▲ 12.3	▲ 15.6
仕入単価	▲ 22.5	▲ 30.4	▲ 42.9	▲ 28.4	▲ 28.2	▲ 30.3	▲ 27.3
従業員	▲ 16.9	▲ 20.7	▲ 15.6	▲ 17.6	▲ 14.1	▲ 10.6	▲ 7.6

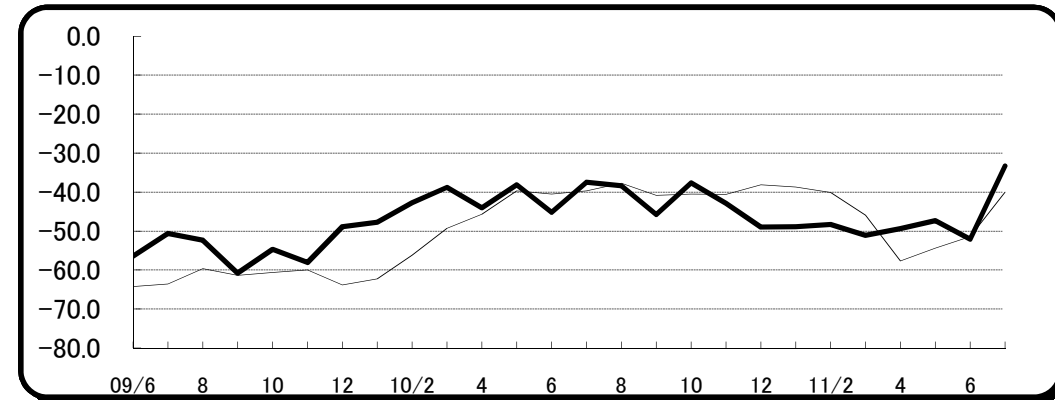
産業別業況DI（前年同月比）の推移

	11年 2月	3月	4月	5月	6月	7月	先行き見通し 8～10月
建設	▲ 62.5	▲ 73.3	▲ 61.5	▲ 66.7	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 41.7
製造	▲ 78.6	▲ 57.1	▲ 45.5	▲ 63.6	▲ 54.5	▲ 36.4	▲ 45.5
卸売	▲ 37.5	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 42.9	▲ 62.5	▲ 33.3	▲ 33.3
小売	▲ 29.2	▲ 52.2	▲ 42.9	▲ 30.0	▲ 55.6	▲ 16.7	▲ 33.3
サービス	▲ 44.4	▲ 43.8	▲ 58.3	▲ 45.8	▲ 45.5	▲ 36.8	▲ 31.6

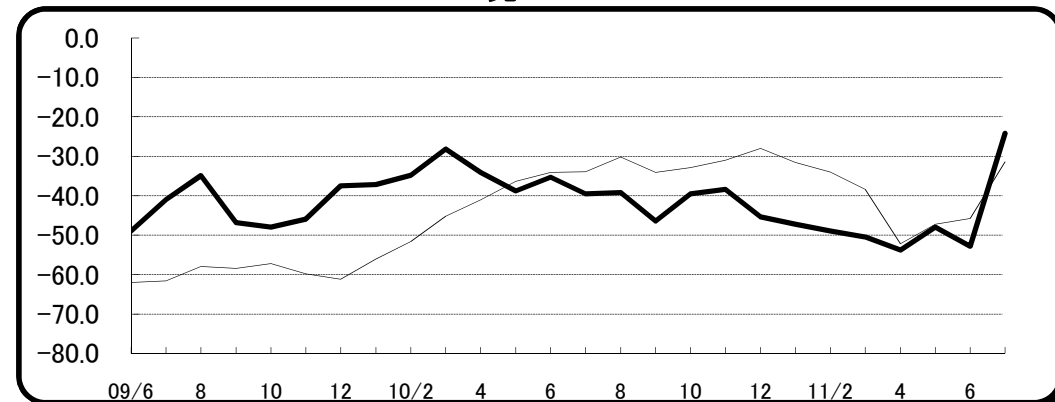
ブロック別全産業DI（前年同月比）の推移（北海道）

—— 北海道    —— 全国

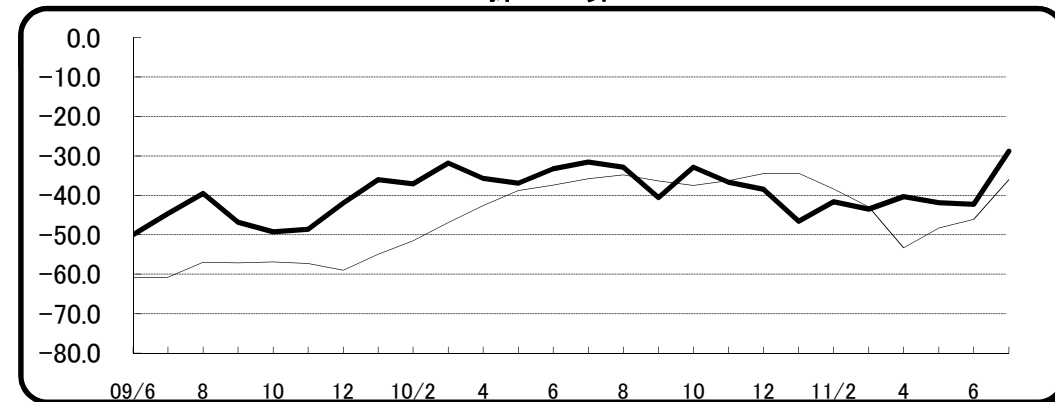
業況



売上



採算



【ブロック別概況・東北】

○全産業の業況DIは、マイナス幅が3カ月連続で大幅に縮小。産業別にみても、全ての業種でマイナス幅が縮小した。  
 ○電気工事業からは、「資材不足によりこれまで落ち込んでいた住宅着工が、益明けぐらいから本格的に持ち直す見通し」とのコメント。百貨店からは、「節電意識の高まりから、クールビズ商品や暑さ対策商品の売上が好調」との声、商店街からは、「県外の人々の来街が徐々に増えている」とのコメント。旅館からは、「震災復旧のため、作業員の宿泊が増加。業況が上向いている」とのコメントが寄せられた。  
 ○業況の先行き見通しDIは、全産業では今月からマイナス幅が大幅に縮小する見込み。産業別にみると、小売はマイナス幅が拡大するものの、他の4業種は業況が改善する見込み。

全産業DI（前年同月比）の推移

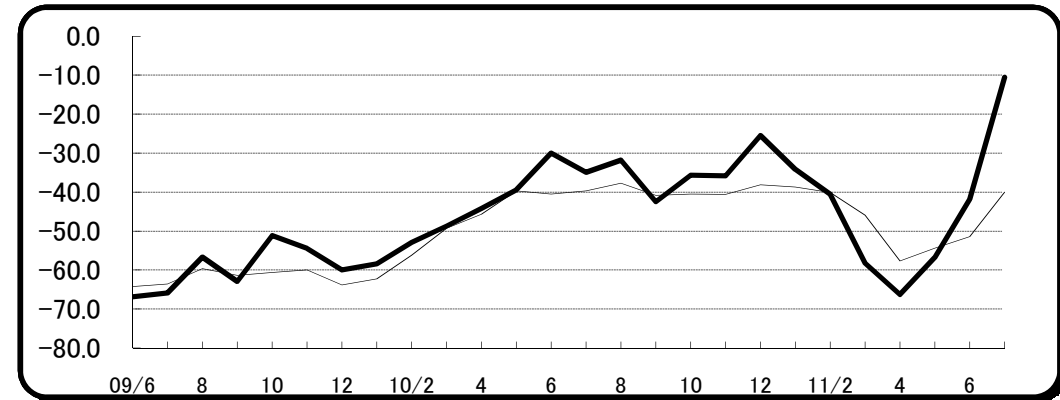
	11年 2月	3月	4月	5月	6月	7月	先行き見通し 8～10月
業況	▲ 40.6	▲ 58.2	▲ 66.3	▲ 56.8	▲ 41.8	▲ 10.5	▲ 3.2
売上	▲ 29.2	▲ 47.8	▲ 65.6	▲ 55.2	▲ 40.7	▲ 11.5	▲ 10.4
採算	▲ 41.7	▲ 55.2	▲ 68.8	▲ 58.3	▲ 42.9	▲ 17.9	▲ 16.8
資金繰り	▲ 30.0	▲ 41.9	▲ 48.9	▲ 41.3	▲ 33.3	▲ 9.7	▲ 5.5
仕入単価	▲ 26.0	▲ 45.5	▲ 39.6	▲ 33.3	▲ 27.5	▲ 42.1	▲ 28.4
従業員	▲ 3.1	▲ 3.0	▲ 17.4	▲ 11.5	▲ 12.1	▲ 1.0	▲ 10.3

産業別業況DI（前年同月比）の推移

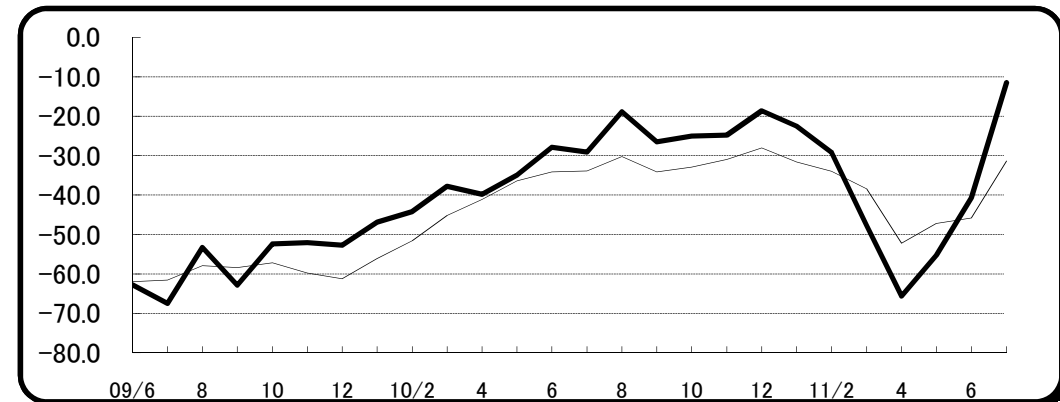
	11年 2月	3月	4月	5月	6月	7月	先行き見通し 8～10月
建設	▲ 43.8	▲ 36.4	▲ 40.0	▲ 17.6	▲ 29.4	▲ 5.6	11.1
製造	▲ 41.7	▲ 57.9	▲ 76.2	▲ 68.2	▲ 38.1	0.0	5.0
卸売	▲ 33.3	▲ 66.7	▲ 75.0	▲ 57.1	▲ 83.3	▲ 14.3	14.3
小売	▲ 34.6	▲ 76.5	▲ 63.0	▲ 53.8	▲ 29.6	▲ 4.0	▲ 7.7
サービス	▲ 45.8	▲ 52.9	▲ 76.2	▲ 78.3	▲ 60.0	▲ 28.0	▲ 21.7

ブロック別全産業DI（前年同月比）の推移（東北）  
 〰〰〰 東北    〰〰〰 全国

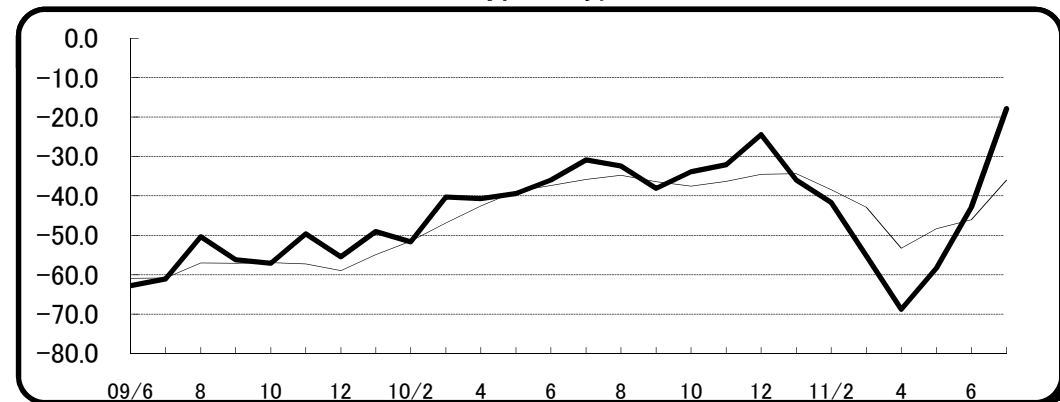
業況



売上



採算





【ブロック別概況・北陸信越】

○全産業の業況DIは、マイナス幅が3カ月連続で縮小。産業別にみると、建設、製造はマイナス幅が拡大したものの、他の3業種は縮小した。  
 ○建築工事業からは、「震災の復旧工事が優先され、地元の公共工事が減少」とのコメント。金属加工機械製造業からは、「サプライチェーンの寸断に伴い代替需要が発生。従来取引したことのない企業からの注文に対応している」とのコメント。商店街からは、「外国人観光客の減少が著しく、売上が低迷」とのコメント。運送業からは、「被災地の高速道路料金無料により恩恵を受けているものの、その分荷主から運賃の値引きを要請されている」とのコメントが寄せられた。  
 ○業況の先行き見通しDIは、今月と比べ、全ての業種でマイナス幅が縮小する見込み。

全産業DI（前年同月比）の推移

	11年 2月	3月	4月	5月	6月	7月	先行き見通し 8～10月
業況	▲ 35.1	▲ 45.0	▲ 62.3	▲ 58.8	▲ 54.3	▲ 52.3	▲ 33.3
売上	▲ 24.7	▲ 32.5	▲ 50.0	▲ 51.0	▲ 44.9	▲ 45.4	▲ 28.7
採算	▲ 33.8	▲ 41.7	▲ 57.8	▲ 55.7	▲ 44.2	▲ 46.9	▲ 34.1
資金繰り	▲ 20.6	▲ 26.7	▲ 38.2	▲ 37.4	▲ 37.2	▲ 36.5	▲ 32.5
仕入単価	▲ 20.3	▲ 31.3	▲ 33.1	▲ 33.8	▲ 33.6	▲ 30.2	▲ 26.6
従業員	▲ 6.5	▲ 12.7	▲ 15.7	▲ 11.6	▲ 10.1	▲ 14.7	▲ 15.5

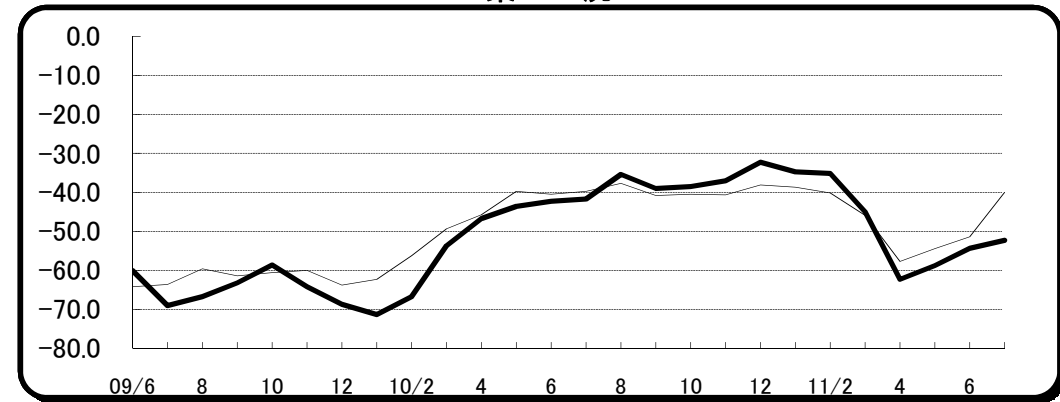
産業別業況DI（前年同月比）の推移

	11年 2月	3月	4月	5月	6月	7月	先行き見通し 8～10月
建設	▲ 44.4	▲ 51.9	▲ 70.0	▲ 51.9	▲ 50.0	▲ 54.2	▲ 50.0
製造	▲ 11.1	▲ 21.6	▲ 41.7	▲ 37.9	▲ 35.3	▲ 38.7	▲ 25.8
卸売	▲ 30.8	▲ 27.3	▲ 66.7	▲ 69.2	▲ 53.8	▲ 50.0	▲ 41.7
小売	▲ 42.5	▲ 48.8	▲ 62.2	▲ 54.8	▲ 55.9	▲ 50.0	▲ 29.0
サービス	▲ 44.7	▲ 65.7	▲ 75.0	▲ 81.1	▲ 79.3	▲ 67.7	▲ 29.0

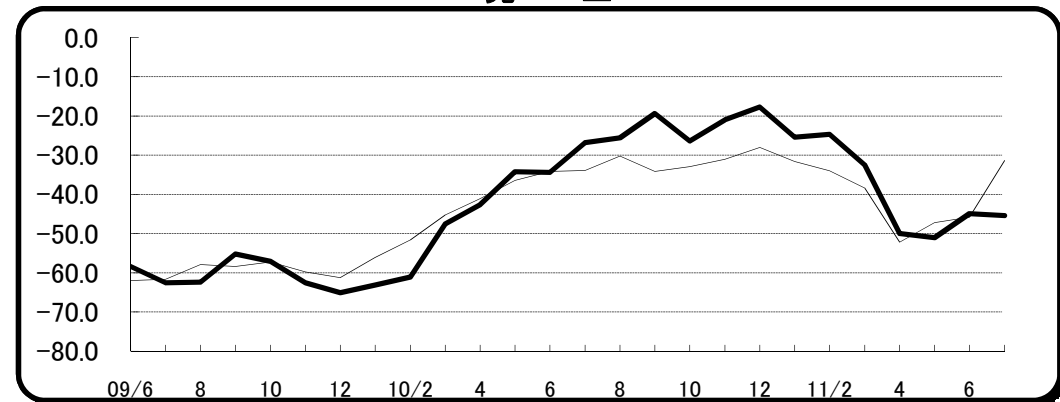
ブロック別全産業DI（前年同月比）の推移（北陸信越）

—— 北陸信越    —— 全国

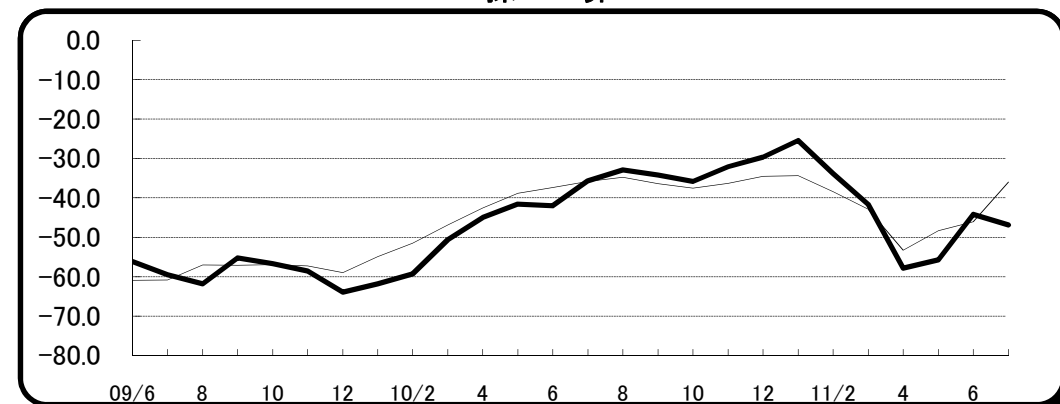
業況



売上



採算



【ブロック別概況・関東】

○全産業の業況DIは、マイナス幅が3カ月連続で縮小。産業別にみても、全ての業種でマイナス幅が縮小した。  
 ○自動車・同附属品製造業からは、「足元の受注量は、大幅に落ち込んでいた3～5月から回復。これまで減産していた分も含めて、生産量は高水準にある」との声、一般産業用機械製造業からは、「円高や電力不足により、取引先が海外移転を加速させており、受注の減少を懸念」とのコメント。百貨店からは、「節電需要に伴い、涼感関連商材（寝具、肌着）の売上が前年比10パーセント以上増加」との声、肉類小売業からは、「牛肉の放射能汚染問題が発生後、売上が極端に減少。仕入先を九州や山陰地方に変えるも、来店客は牛肉自体の購入を控えている」とのコメントが寄せられた。  
 ○業況の先行き見通しDIは、全産業では今月と比べマイナス幅が大幅に縮小する見込み。産業別にみると、建設はマイナス幅が拡大するものの、他の4業種は縮小する見込み。

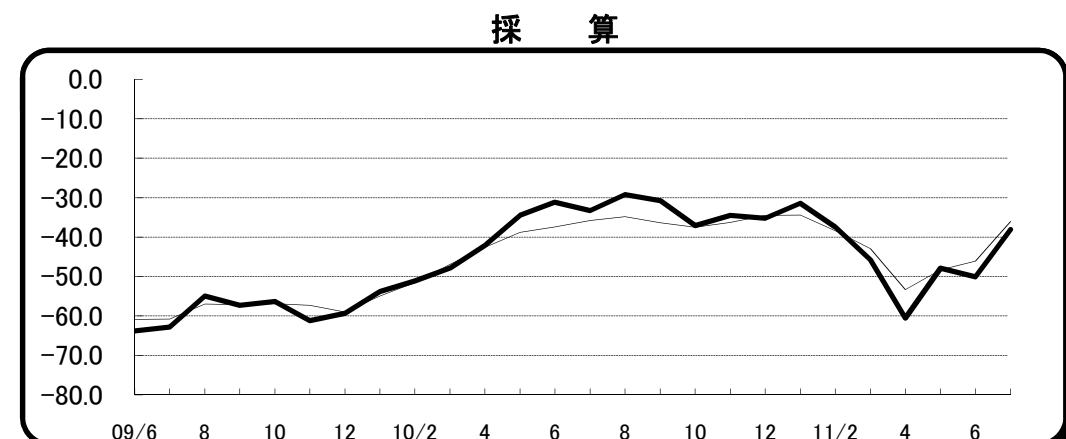
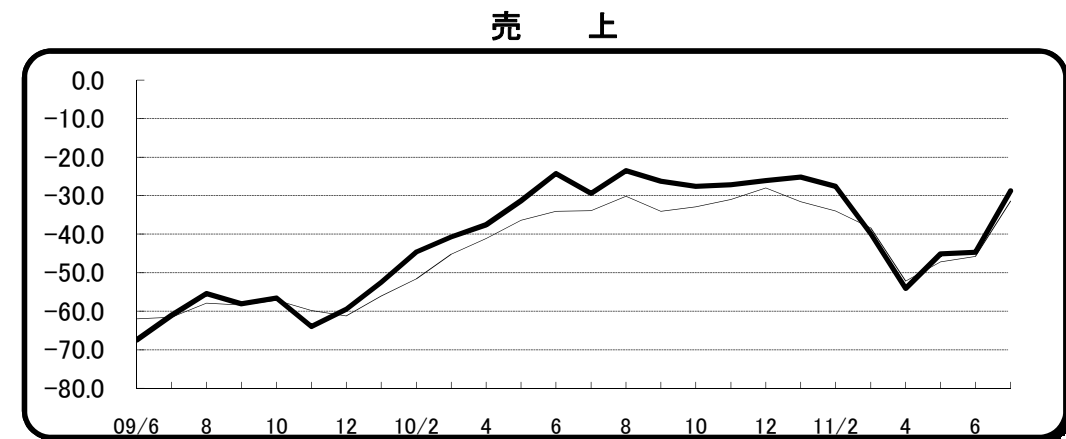
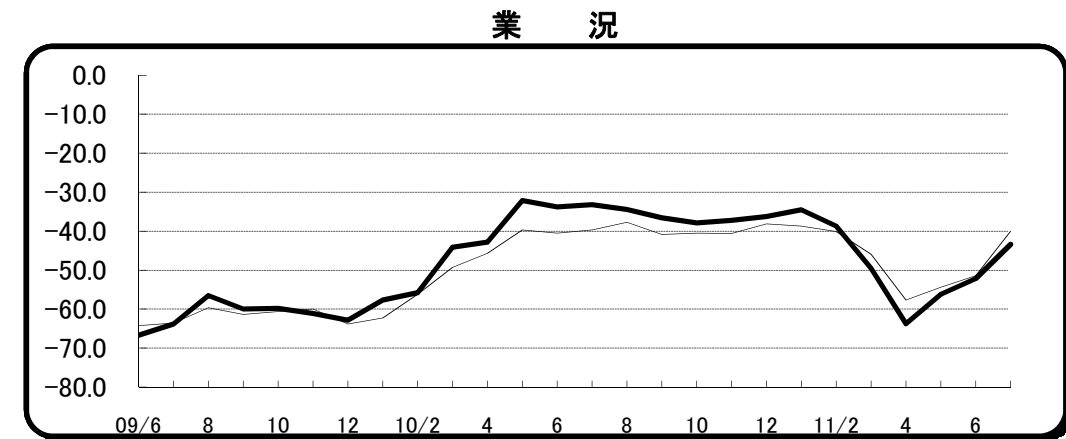
全産業DI（前年同月比）の推移

	11年 2月	3月	4月	5月	6月	7月	先行き見通し 8～10月
業況	▲ 38.7	▲ 49.5	▲ 63.7	▲ 56.2	▲ 52.2	▲ 43.4	▲ 35.5
売上	▲ 27.6	▲ 39.9	▲ 54.1	▲ 45.1	▲ 44.7	▲ 28.8	▲ 25.8
採算	▲ 37.4	▲ 45.8	▲ 60.5	▲ 47.9	▲ 50.1	▲ 38.1	▲ 35.8
資金繰り	▲ 25.2	▲ 35.1	▲ 36.4	▲ 34.6	▲ 32.3	▲ 24.9	▲ 25.5
仕入単価	▲ 27.6	▲ 42.0	▲ 40.3	▲ 39.8	▲ 42.6	▲ 35.8	▲ 30.4
従業員	▲ 8.0	▲ 15.4	▲ 13.0	▲ 12.5	▲ 11.7	▲ 5.8	▲ 4.4

産業別業況DI（前年同月比）の推移

	11年 2月	3月	4月	5月	6月	7月	先行き見通し 8～10月
建設	▲ 51.6	▲ 71.7	▲ 59.3	▲ 56.5	▲ 50.8	▲ 41.7	▲ 50.0
製造	▲ 25.8	▲ 35.4	▲ 68.5	▲ 53.8	▲ 43.6	▲ 37.5	▲ 25.8
卸売	▲ 42.9	▲ 56.7	▲ 54.1	▲ 55.0	▲ 51.4	▲ 50.0	▲ 32.5
小売	▲ 29.9	▲ 41.3	▲ 58.3	▲ 53.7	▲ 51.6	▲ 40.4	▲ 35.2
サービス	▲ 51.9	▲ 55.4	▲ 72.5	▲ 62.4	▲ 64.2	▲ 52.1	▲ 37.5

ブロック別全産業DI（前年同月比）の推移（関東）



【ブロック別概況・東海】

○全産業の業況D Iは、マイナス幅が3カ月連続で縮小。産業別にみても、全ての業種でマイナス幅が縮小した。  
 ○鉄素形材製造業からは、「大手自動車メーカー向けの生産が増えており、毎日2時間程度の残業が発生」との声、自動車・同附属品製造業からは、「自動車工場の生産体制に合わせ、土日出勤・木・金曜休日を実施するも、自動車関連以外の顧客向けに営業・物流部門では木・金曜も出勤。このため、経費が増加し、収益に悪影響が及んでいる」とのコメント。繊維品卸売業からは、「スーパークールビズの影響で、スーツの売上が落ち込んでいる」とのコメント。総合スーパーからは、「大手自動車会社の休日変更に伴い、木金の売上が伸びる一方、土日の売上が1割減少。経営への影響が大きい」とのコメントが寄せられた。  
 ○業況の先行き見通しD Iは、全産業では今月と比べマイナス幅が縮小する見込み。産業別にみると、製造、小売はマイナス幅が拡大、建設は横ばい、卸売、サービスは縮小する見込み。

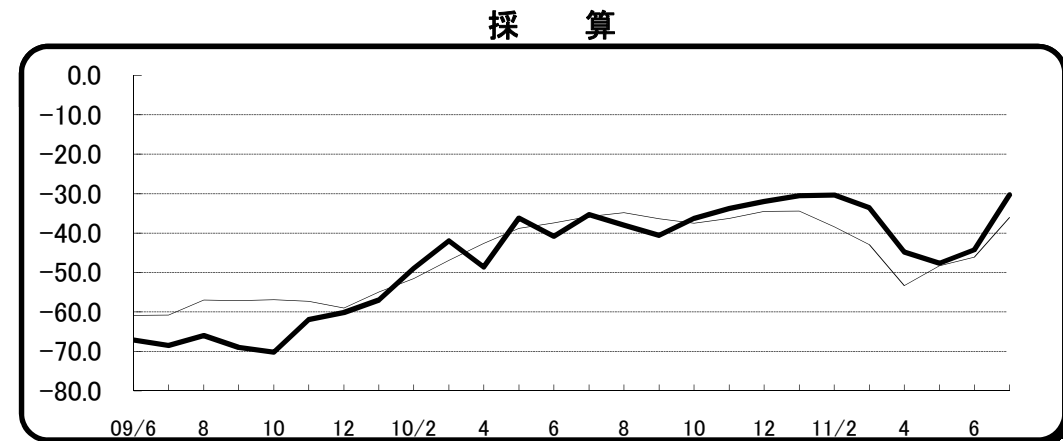
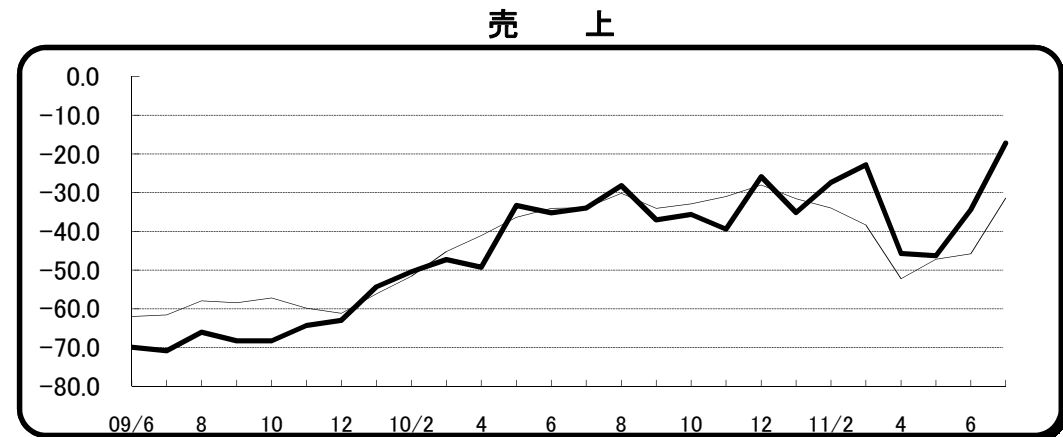
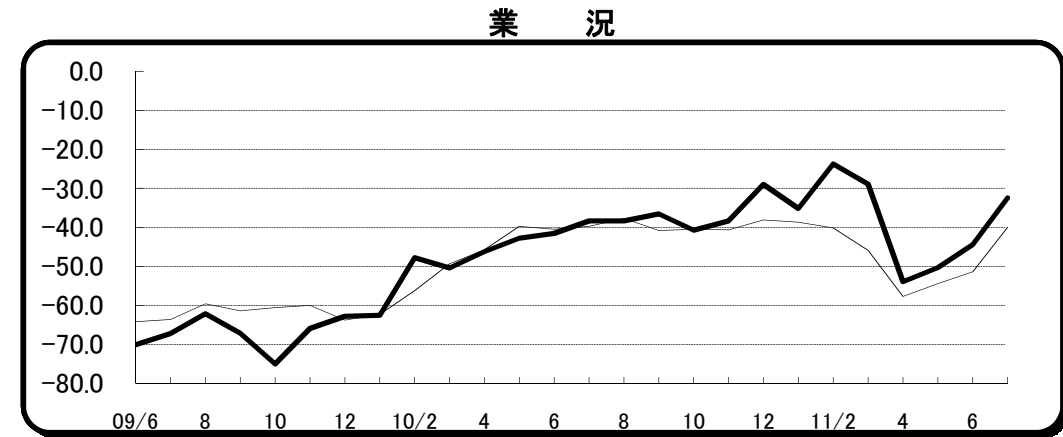
全産業D I（前年同月比）の推移

	11年 2月	3月	4月	5月	6月	7月	先行き見通し 8～10月
業況	▲ 23.7	▲ 28.9	▲ 53.9	▲ 50.3	▲ 44.4	▲ 32.4	▲ 27.6
売上	▲ 27.4	▲ 22.8	▲ 45.7	▲ 46.3	▲ 34.4	▲ 17.2	▲ 21.5
採算	▲ 30.4	▲ 33.6	▲ 44.8	▲ 47.6	▲ 44.2	▲ 30.3	▲ 27.1
資金繰り	▲ 13.2	▲ 12.5	▲ 24.5	▲ 19.4	▲ 22.1	▲ 14.3	▲ 20.0
仕入単価	▲ 18.7	▲ 29.1	▲ 30.4	▲ 32.9	▲ 30.3	▲ 26.6	▲ 27.5
従業員	▲ 4.4	▲ 4.7	▲ 6.0	▲ 6.8	▲ 5.2	1.4	1.4

産業別業況D I（前年同月比）の推移

	11年 2月	3月	4月	5月	6月	7月	先行き見通し 8～10月
建設	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 53.3	▲ 50.0	▲ 52.6	▲ 33.3	▲ 33.3
製造	▲ 5.6	▲ 7.3	▲ 41.7	▲ 43.9	▲ 31.8	▲ 7.9	▲ 15.8
卸売	▲ 33.3	▲ 47.1	▲ 64.3	▲ 83.3	▲ 68.4	▲ 58.8	▲ 35.3
小売	▲ 17.2	▲ 30.3	▲ 53.3	▲ 52.9	▲ 40.5	▲ 31.4	▲ 34.3
サービス	▲ 27.3	▲ 31.6	▲ 70.0	▲ 38.2	▲ 47.1	▲ 45.9	▲ 27.0

ブロック別全産業D I（前年同月比）の推移（東海）



【ブロック別概況・近畿】

○全産業の業況DIは、マイナス幅が2カ月連続で縮小。産業別にみると、製造はマイナス幅が拡大、建設はほぼ横ばいとなったものの、他の3業種は大幅に縮小した。  
 ○自動車・同附属品製造業からは、「自動車メーカーの生産が急回復。それに伴い、自社も9月以降は高水準の生産が続く見通し」とのコメント。総合スーパーからは、「節電需要が追い風となり、扇風機の売上が伸びている。また、テレビも地デジ化の駆け込み需要があり、売上が好調」との声、商店街からは、「放射能汚染の影響で、牛肉が売れない」とのコメント。旅館からは、「団体客数は依然少ないものの、個人の宿泊客数は持ち直している」とのコメントが寄せられた。  
 ○業況の先行き見通しDIは、全産業では今月と比べマイナス幅が縮小する見込み。産業別にみると、建設はマイナス幅が拡大、卸売、小売はほぼ横ばいとなるものの、製造、サービスは縮小する見込み。

全産業DI（前年同月比）の推移

	11年 2月	3月	4月	5月	6月	7月	先行き見通し 8～10月
業況	▲ 46.3	▲ 47.3	▲ 54.3	▲ 55.8	▲ 52.1	▲ 45.6	▲ 42.9
売上	▲ 40.0	▲ 47.0	▲ 52.6	▲ 50.8	▲ 48.8	▲ 42.0	▲ 31.0
採算	▲ 43.9	▲ 49.7	▲ 51.4	▲ 53.7	▲ 45.7	▲ 38.1	▲ 28.7
資金繰り	▲ 17.4	▲ 23.4	▲ 33.1	▲ 33.7	▲ 28.8	▲ 27.2	▲ 24.8
仕入単価	▲ 34.6	▲ 44.6	▲ 32.0	▲ 37.0	▲ 35.0	▲ 40.7	▲ 31.3
従業員	▲ 9.5	▲ 8.4	▲ 6.9	▲ 8.9	▲ 7.3	▲ 7.1	▲ 8.3

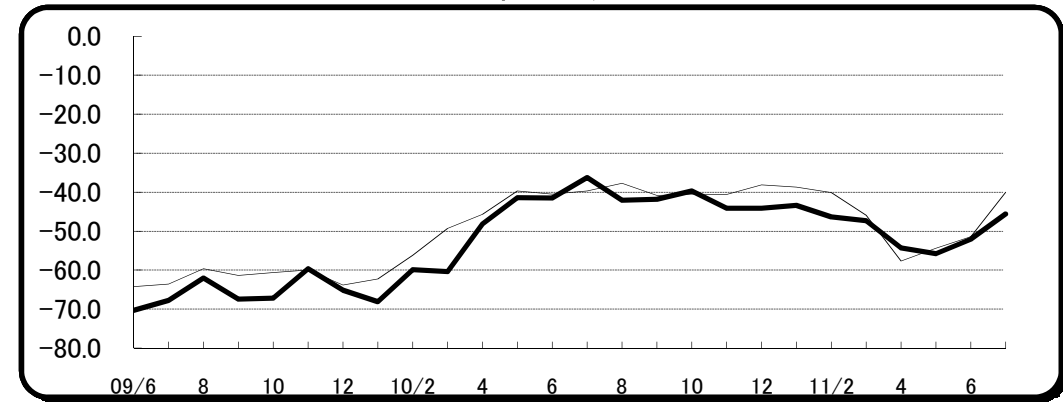
産業別業況DI（前年同月比）の推移

	11年 2月	3月	4月	5月	6月	7月	先行き見通し 8～10月
建設	▲ 38.1	▲ 57.9	▲ 54.5	▲ 62.5	▲ 55.0	▲ 54.5	▲ 63.6
製造	▲ 40.8	▲ 51.2	▲ 47.7	▲ 47.9	▲ 47.8	▲ 50.0	▲ 43.2
卸売	▲ 50.0	▲ 25.0	▲ 18.8	▲ 60.0	▲ 50.0	▲ 31.3	▲ 31.3
小売	▲ 45.6	▲ 41.7	▲ 65.4	▲ 62.7	▲ 53.2	▲ 44.9	▲ 45.8
サービス	▲ 55.6	▲ 53.5	▲ 61.0	▲ 50.0	▲ 55.3	▲ 42.1	▲ 31.6

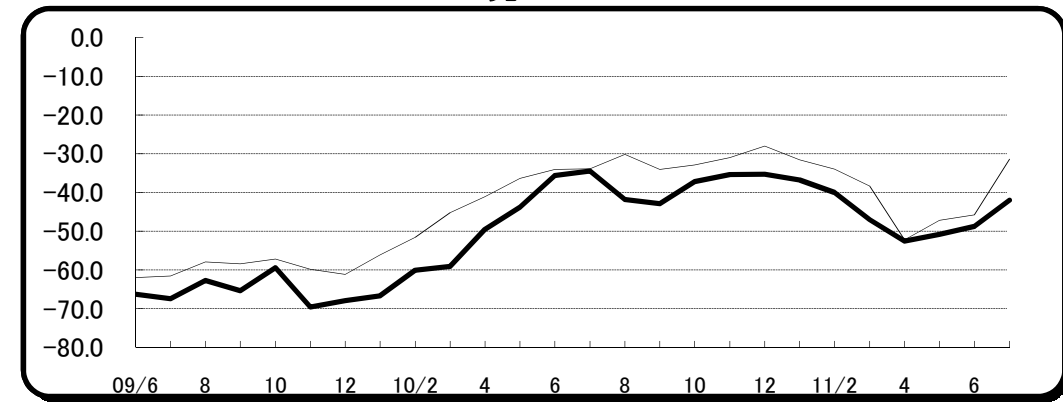
ブロック別全産業DI（前年同月比）の推移（近畿）

近畿 全国

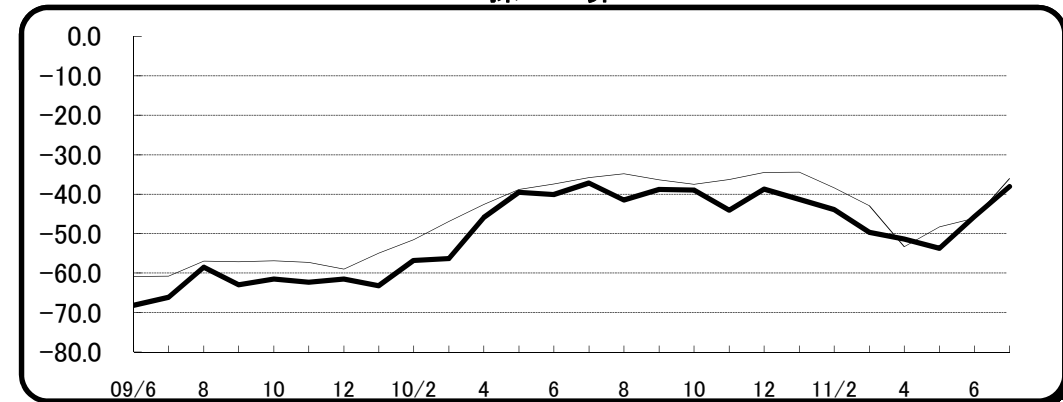
業況



売上



採算



【ブロック別概況・中国】

○全産業の業況DIは、マイナス幅が2カ月連続で縮小。産業別にみると、建設はマイナス幅が拡大したものの、他の4業種は大幅に縮小した。  
 ○耐火物製造業からは、「自動車の生産が本格化していることから、大口取引先である鉄鋼の生産回復による受注の増加を期待」との声、船舶製造・修理業からは、「円高の影響で、取引先は海外での受注競争に敗れ、利益が減少。今後、自社の請負工事代金の減額を求められることが懸念」とのコメント。百貨店からは、「地デジ化や節電対応により、テレビや扇風機など家電製品の売上が好調」との声、商店街からは、「高速道路の休日上限千円の割引制度が廃止となり、週末の売上が落ち込んでいる」とのコメントが寄せられた。  
 ○業況の先行き見通しDIは、全産業では今月と比べマイナス幅が大幅に縮小する見込み。産業別にみると、建設、製造は横ばいであるものの、他の3業種はマイナス幅が縮小する見込み。

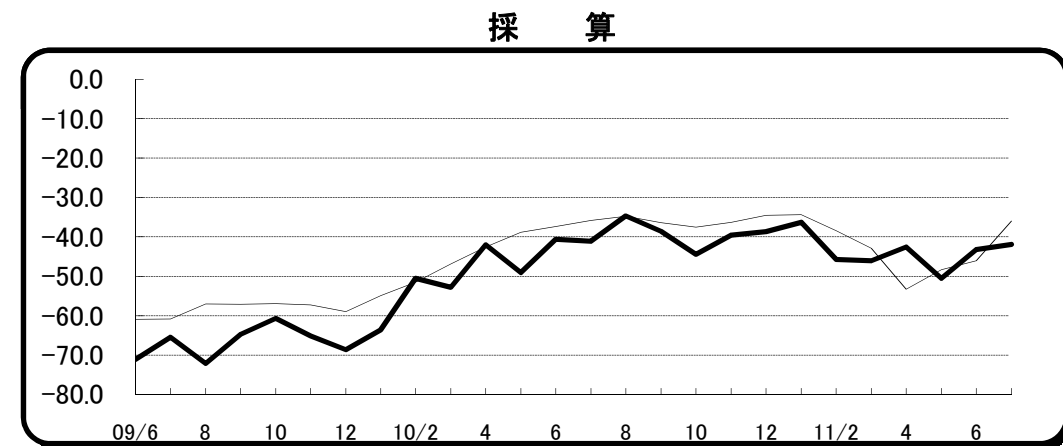
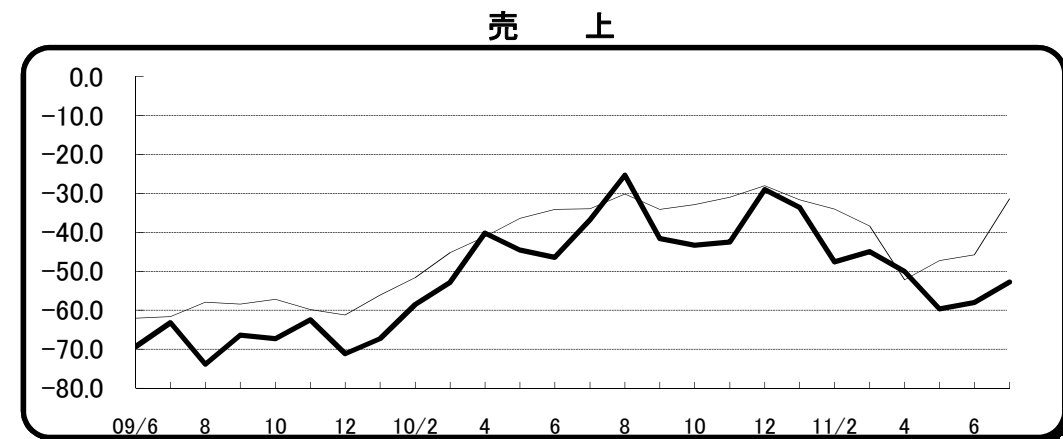
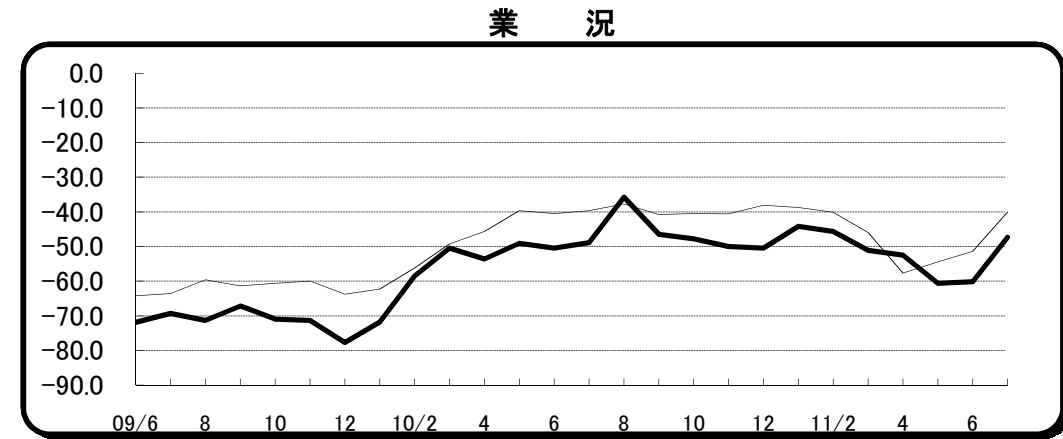
全産業DI（前年同月比）の推移

	11年 2月	3月	4月	5月	6月	7月	先行き見通し 8~10月
業況	▲ 45.7	▲ 51.1	▲ 52.5	▲ 60.6	▲ 60.2	▲ 47.3	▲ 38.5
売上	▲ 47.6	▲ 44.9	▲ 50.0	▲ 59.6	▲ 58.0	▲ 52.7	▲ 33.7
採算	▲ 45.7	▲ 46.1	▲ 42.6	▲ 50.5	▲ 43.2	▲ 41.9	▲ 31.5
資金繰り	▲ 31.1	▲ 36.4	▲ 39.4	▲ 37.4	▲ 36.0	▲ 38.0	▲ 36.3
仕入単価	▲ 22.1	▲ 29.2	▲ 25.0	▲ 26.3	▲ 23.0	▲ 26.4	▲ 17.8
従業員	▲ 22.9	▲ 27.0	▲ 22.0	▲ 23.2	▲ 26.1	▲ 15.1	▲ 13.0

産業別業況DI（前年同月比）の推移

	11年 2月	3月	4月	5月	6月	7月	先行き見通し 8~10月
建設	▲ 27.3	▲ 44.4	▲ 81.8	▲ 58.3	▲ 60.0	▲ 66.7	▲ 66.7
製造	▲ 33.3	▲ 43.3	▲ 33.3	▲ 51.6	▲ 48.1	▲ 34.5	▲ 34.5
卸売	▲ 42.9	▲ 25.0	▲ 57.1	▲ 61.5	▲ 75.0	▲ 58.3	▲ 41.7
小売	▲ 55.2	▲ 63.6	▲ 55.2	▲ 76.9	▲ 56.0	▲ 46.4	▲ 29.6
サービス	▲ 66.7	▲ 73.3	▲ 58.8	▲ 52.9	▲ 78.6	▲ 53.3	▲ 42.9

ブロック別全産業DI（前年同月比）の推移（中国）



【ブロック別概況・四国】

○全産業の業況DIは、マイナス幅が2カ月連続で縮小。産業別にみると、製造はマイナス幅が拡大、卸売は横ばいだったものの、他の3業種は大幅に縮小した。  
 ○土木工事業からは、「公共工事が出ており、多少明るい兆しが見られる」とのコメント。輸送用機械器具製造業からは、「円高により造船受注が激減。案件があっても、赤字同然の受注単価で仕事を受けざるを得ない現状」との声、一般産業用機械製造業からは、「震災復興の指針が見えないことから、国内企業の設備投資への意欲が慎重。また、電力不足などの影響により、地元企業による生産拠点の海外移転の動きが出ている」とのコメント。商店街からは、「地デジ化完全移行後、テレビの売上減少が予想されるが、それを補う商品がなく、先行きが不安」とのコメントが寄せられた。  
 ○業況の先行き見通しDIは、全産業では今月と比べマイナス幅が拡大する見込み。産業別にみると、卸売はマイナス幅が縮小、製造、サービスは横ばいとなるものの、建設、小売は拡大する見込み。

全産業DI（前年同月比）の推移

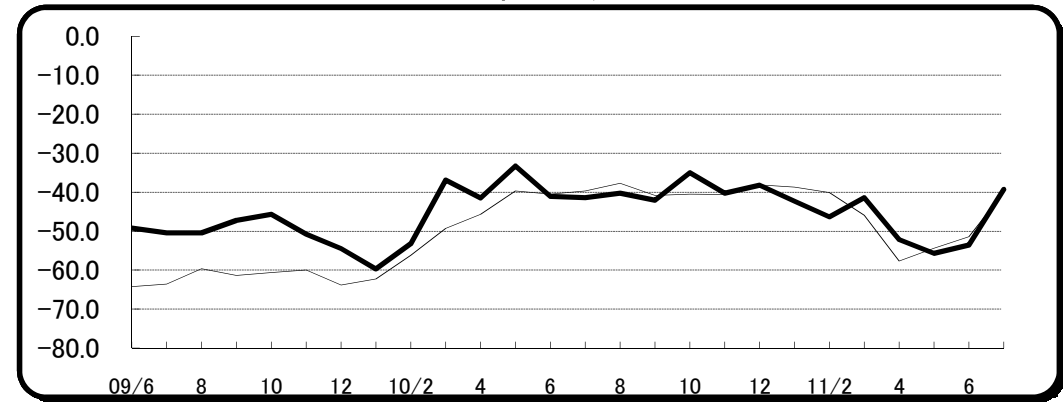
	11年 2月	3月	4月	5月	6月	7月	先行き見通し 8~10月
業況	▲ 46.3	▲ 41.4	▲ 52.2	▲ 55.7	▲ 53.6	▲ 39.3	▲ 40.5
売上	▲ 42.3	▲ 31.6	▲ 49.6	▲ 44.9	▲ 47.3	▲ 28.8	▲ 36.8
採算	▲ 38.2	▲ 33.3	▲ 50.5	▲ 48.6	▲ 47.3	▲ 39.0	▲ 36.8
資金繰り	▲ 27.6	▲ 27.0	▲ 26.5	▲ 21.5	▲ 30.9	▲ 23.1	▲ 28.4
仕入単価	▲ 29.3	▲ 32.5	▲ 33.6	▲ 42.1	▲ 37.3	▲ 33.1	▲ 29.1
従業員	▲ 16.3	▲ 8.5	▲ 9.7	▲ 11.2	▲ 8.2	▲ 3.4	▲ 5.1

産業別業況DI（前年同月比）の推移

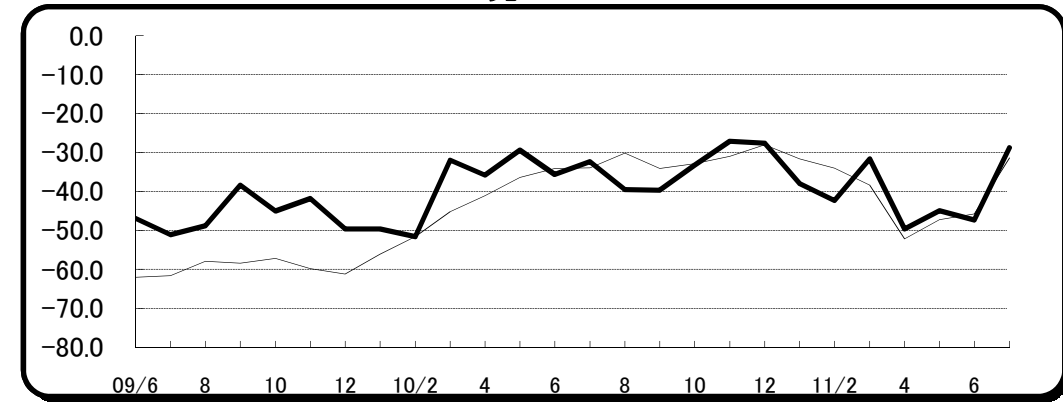
	11年 2月	3月	4月	5月	6月	7月	先行き見通し 8~10月
建設	▲ 61.9	▲ 57.1	▲ 63.2	▲ 75.0	▲ 73.7	▲ 50.0	▲ 55.6
製造	▲ 32.1	▲ 28.6	▲ 31.0	▲ 33.3	▲ 18.5	▲ 24.1	▲ 24.1
卸売	0.0	▲ 30.0	▲ 77.8	▲ 75.0	▲ 70.0	▲ 70.0	▲ 50.0
小売	▲ 60.7	▲ 44.4	▲ 59.3	▲ 60.7	▲ 59.3	▲ 20.0	▲ 27.6
サービス	▲ 52.9	▲ 43.3	▲ 51.7	▲ 55.6	▲ 63.0	▲ 56.7	▲ 56.7

ブロック別全産業DI（前年同月比）の推移（四国）  
 四国 全国

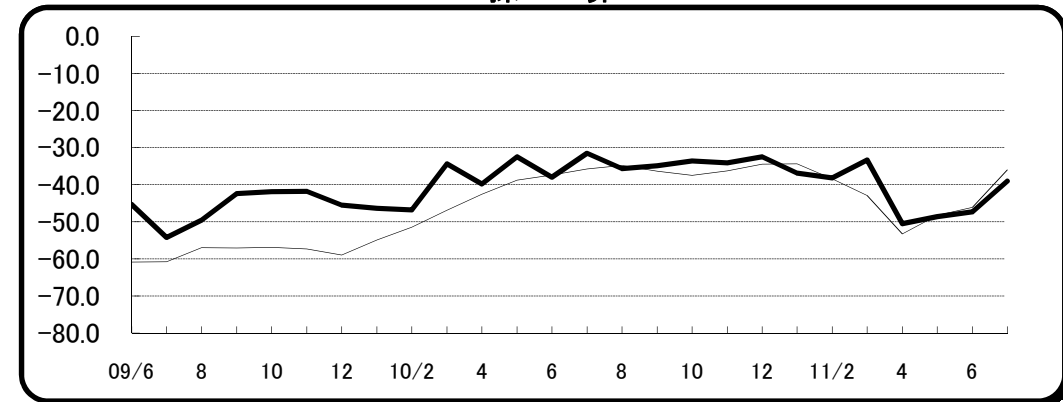
業況



売上



採算



【ブロック別概況・九州】

○全産業の業況D Iは、マイナス幅が2カ月ぶりに縮小。産業別にみると、建設はマイナス幅が拡大、製造はほぼ横ばいだったものの、他の3業種は大幅に縮小した。  
 ○建設・建築用金属製品製造業からは、「雇用維持およびコスト削減のため、取引先が部品を内製化したことから、受注が減少」との声、陶磁器・同関連品製造業からは、「風評被害や節電により厳しい状況が続いているものの、一時期の自粛ムードは払拭されつつある」とのコメント。商店街からは、「梅雨明けが早かったことから、衣料品は肌着を中心に売上が好調。住宅関連も猛暑により暑さ対策商品の売上が伸びている」とのコメント。一般飲食店からは、「地元の原発で働く従業員の飲食店利用が減少」とのコメントが寄せられた。  
 ○業況の先行き見通しD Iは、全産業では今月からマイナス幅が縮小する見込み。産業別にみると、小売はマイナス幅が拡大するものの、他の4業種は縮小する見込み。

全産業D I（前年同月比）の推移

	11年 2月	3月	4月	5月	6月	7月	先行き見通し 8～10月
業況	▲ 41.7	▲ 47.4	▲ 50.8	▲ 43.9	▲ 52.3	▲ 39.7	▲ 34.6
売上	▲ 35.3	▲ 37.6	▲ 48.0	▲ 32.4	▲ 50.5	▲ 31.3	▲ 30.8
採算	▲ 36.7	▲ 39.8	▲ 45.2	▲ 29.5	▲ 44.1	▲ 32.8	▲ 34.6
資金繰り	▲ 29.0	▲ 33.9	▲ 30.5	▲ 27.9	▲ 33.3	▲ 33.1	▲ 30.0
仕入単価	▲ 26.1	▲ 40.2	▲ 40.0	▲ 36.0	▲ 29.4	▲ 31.5	▲ 30.2
従業員	▲ 18.0	▲ 7.7	▲ 17.6	▲ 11.6	▲ 16.2	▲ 13.1	▲ 11.6

産業別業況D I（前年同月比）の推移

	11年 2月	3月	4月	5月	6月	7月	先行き見通し 8～10月
建設	▲ 68.2	▲ 63.6	▲ 60.0	▲ 68.2	▲ 60.0	▲ 68.2	▲ 50.0
製造	▲ 36.4	▲ 45.5	▲ 38.2	▲ 39.4	▲ 46.2	▲ 46.9	▲ 37.5
卸売	▲ 9.1	▲ 11.1	▲ 30.0	▲ 18.2	▲ 50.0	▲ 36.4	▲ 27.3
小売	▲ 40.5	▲ 42.9	▲ 53.1	▲ 40.5	▲ 57.1	▲ 33.3	▲ 38.9
サービス	▲ 41.9	▲ 52.9	▲ 63.3	▲ 44.4	▲ 48.1	▲ 20.0	▲ 17.2

ブロック別全産業D I（前年同月比）の推移（九州）

